

**2024年度 第1四半期
決算説明資料**

神鋼商事株式会社

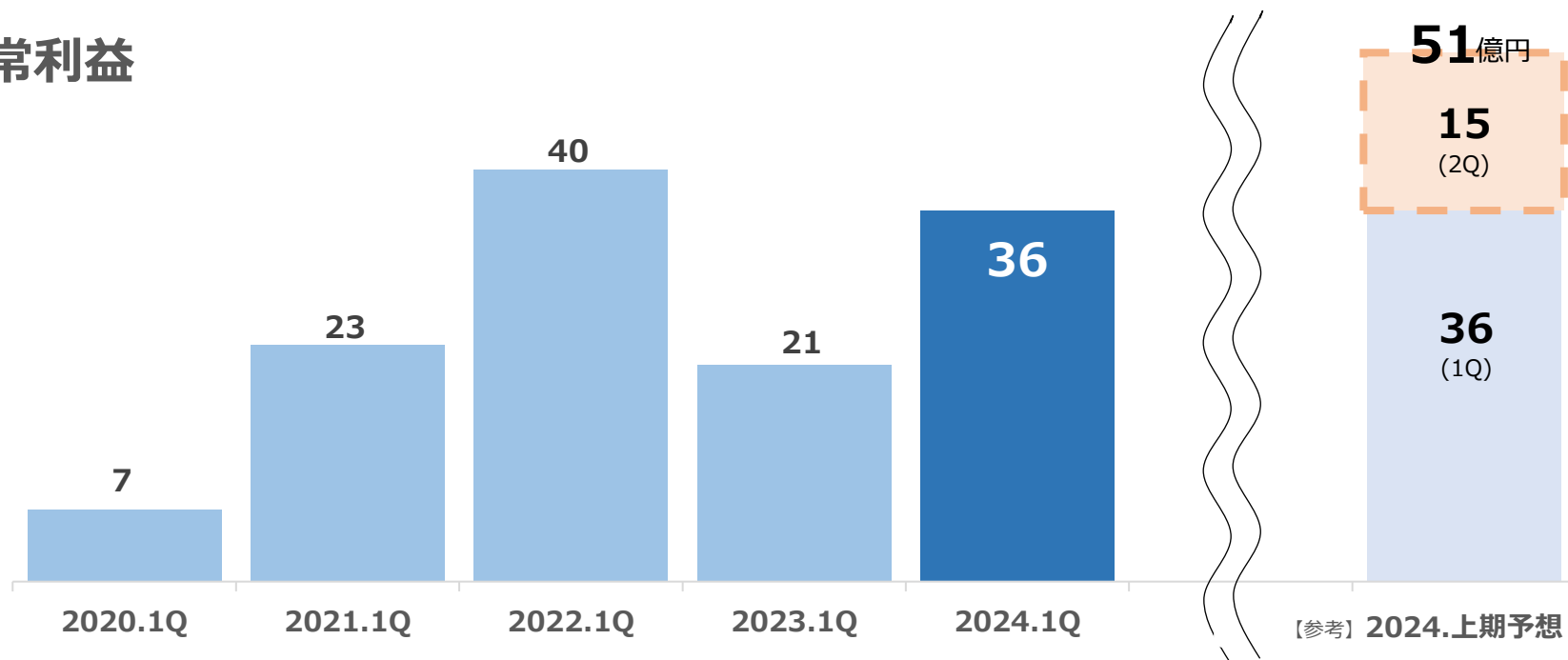
証券コード：8075

本資料のサマリー

業績概要

- 2024年度第1四半期の経常利益は36億円
 - 鉄鋼ユニットは建築分野での需要減少や、自動車生産台数の横ばい影響があったものの取扱量を維持、価格上昇の影響により増収増益
 - アルミ・銅ユニットは主に端子コネクタや空調銅管向け用の銅製品の取扱量増加により、増収増益
- 2024年度の経常利益は当初予想通り、上期51億円、通期110億円を見込む

経常利益



2024年度 1Q 連結損益計算書

- 売上高は、主にアルミ・銅ユニットでの取扱量増加や、鉄鋼ユニットでの価格上昇により増収
- 経常利益は36億円、前年同期比+14億円の増益（P4：セグメント別 経常利益増減 参照）
- 四半期純利益は29億円、前年同期比+16億円の増益

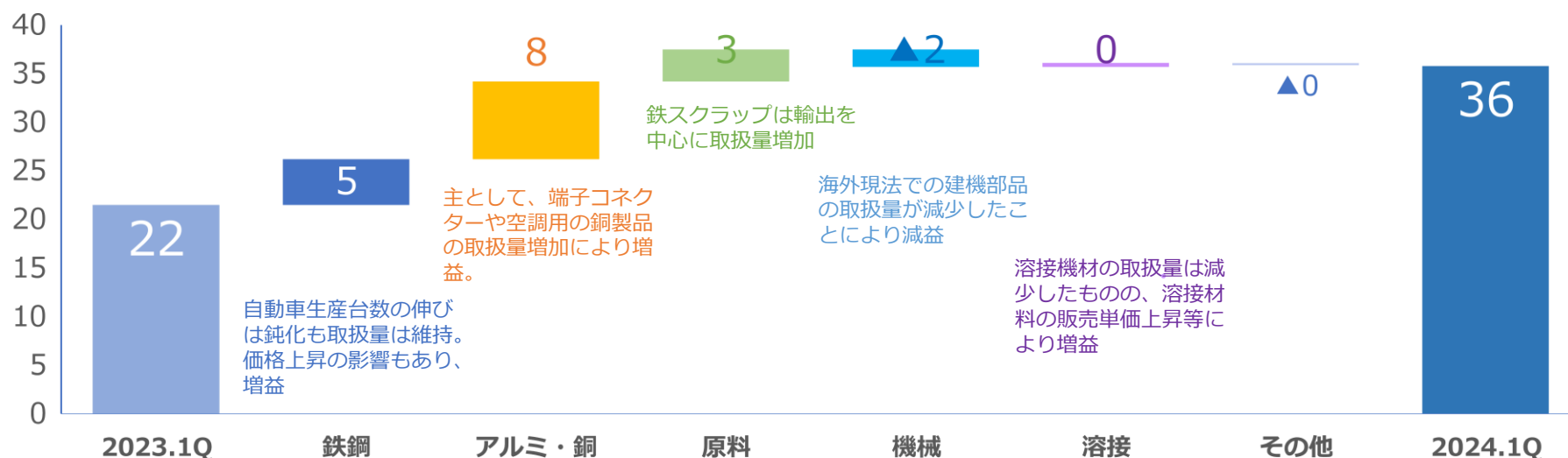
(単位：億円)

	2023年度 1Q	2024年度 1Q	増減額	増減率(%)
売上高	1,366	1,523	158	11.5%
売上総利益	88	104	16	18.1%
販売管理費	▲63	▲67	▲4	-
営業利益	25	37	12	47.0%
経常利益	21	36	14	66.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	14	29	16	115.9%

2024年度1Q ユニット別経常利益増減

(単位：億円)

		2023年度 1Q	2024年度 1Q	増減額	増減率(%)
金属	鉄鋼	9.9	14.6	4.7	47.4%
	アルミ・銅	2.7	10.7	8.0	295.9%
	原料	3.5	6.8	3.3	92.8%
	小計	16.1	32.0	16.0	99.1%
機械・溶接	機械	4.2	2.3	▲1.8	▲43.8%
	溶接	1.2	1.6	0.4	36.2%
	小計	5.4	4.0	▲1.4	▲26.1%
その他		0.0	▲0.2	▲0.2	-%
合計		21.5	35.8	14.3	66.7%



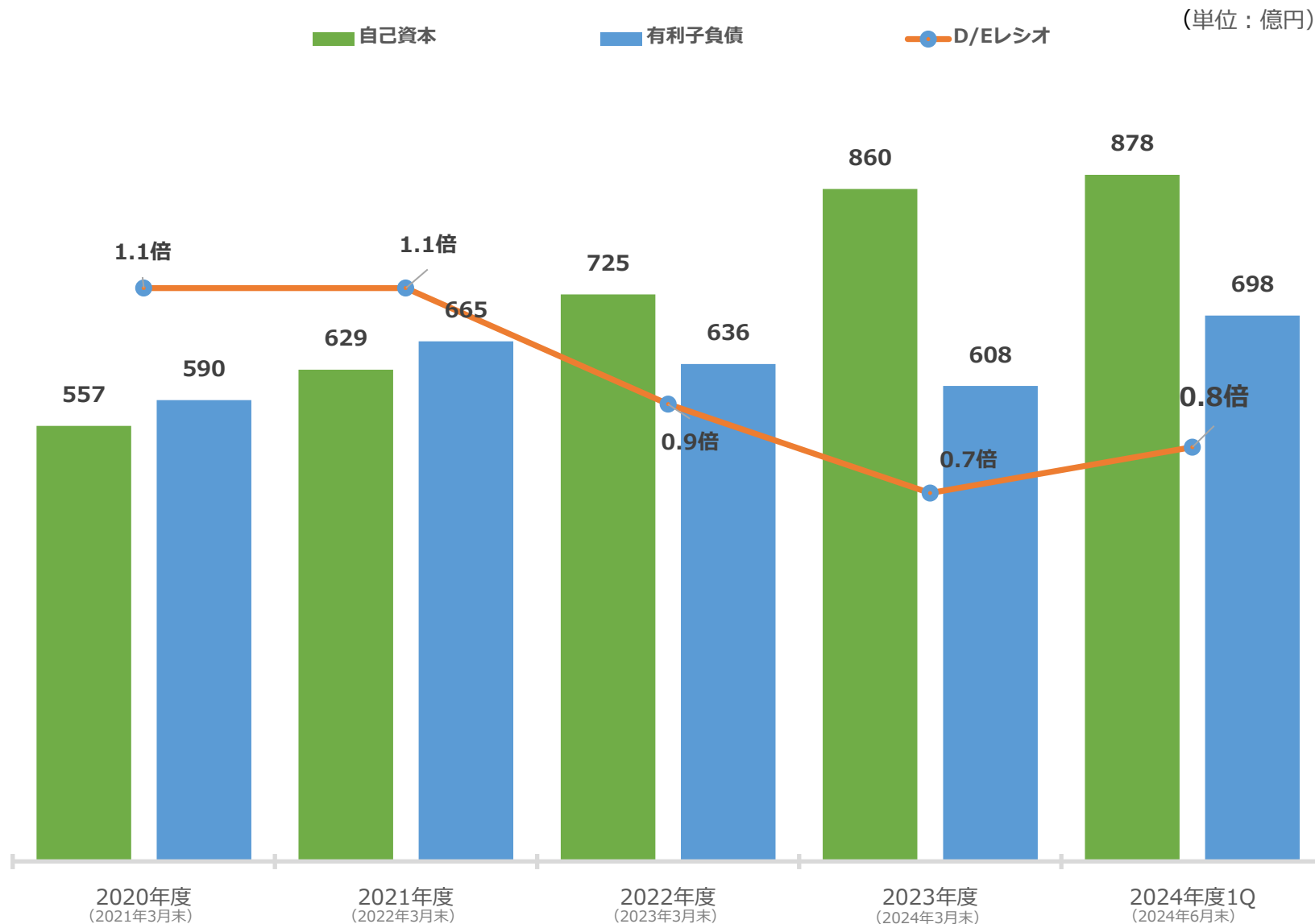
バランスシート状況

(単位：億円)

	2023年度 3月末 (2024/3月)	2024年度 6月末 (2024/6月)	増減
流動資産	3,376	3,636	+260
固定資産	588	576	▲12
〔内訳 有形・無形固定資産〕	〔 110〕	〔 113〕	〔 +3〕
〔 投資その他の資産〕	〔 478〕	〔 463〕	〔 ▲16〕
資産合計	3,964	4,212	+248
流動負債	2,810	3,037	+228
固定負債	280	281	+1
負債合計	3,089	3,318	+229
自己資本	860	878	+18
非支配株主持分	15	16	+1
純資産	875	894	+19
外部有利子負債	608	698	+91
自己資本比率	21.7%	20.8%	▲0.9%
D / E レシオ	0.7倍	0.8倍	+0.1倍
1株当たり純資産	9,770.1	9,972.5	
期末株価	7,220円	7,920円	

バランスシートの状況（自己資本・外部有利子負債 推移）

● D/Eレシオ： 0.8倍（参考：ネットD/Eレシオ 0.7倍）



【外部環境想定】

①日系自動車メーカー（海外含む）生産台数想定

- ✓ 2023年度は、日本国内や他地域での生産台数が堅調に推移するも、中国では低調であった。
- ✓ 2024年度は日本国内は微増予想。中国では緩やかな回復を見込むも、今後も苦戦が続くと予想。

	2022年度実績	2023年度実績	2024年度見通し
対前年比増減率 (海外含む)	+1%	+5%	+1%

②半導体市場予測

- ✓ 2023年の日本国内の半導体装置関連需要は低迷したが、2024年より回復基調を見込む。

【前提条件】

為替レート

- ✓ 1USD=135円を想定。

- 鋼材価格の高値推移や、鋼材取扱数量の増加により売上高は増収予想も、人件費や営業活動費増加により、販売管理費が大幅増加予想

(単位：億円)

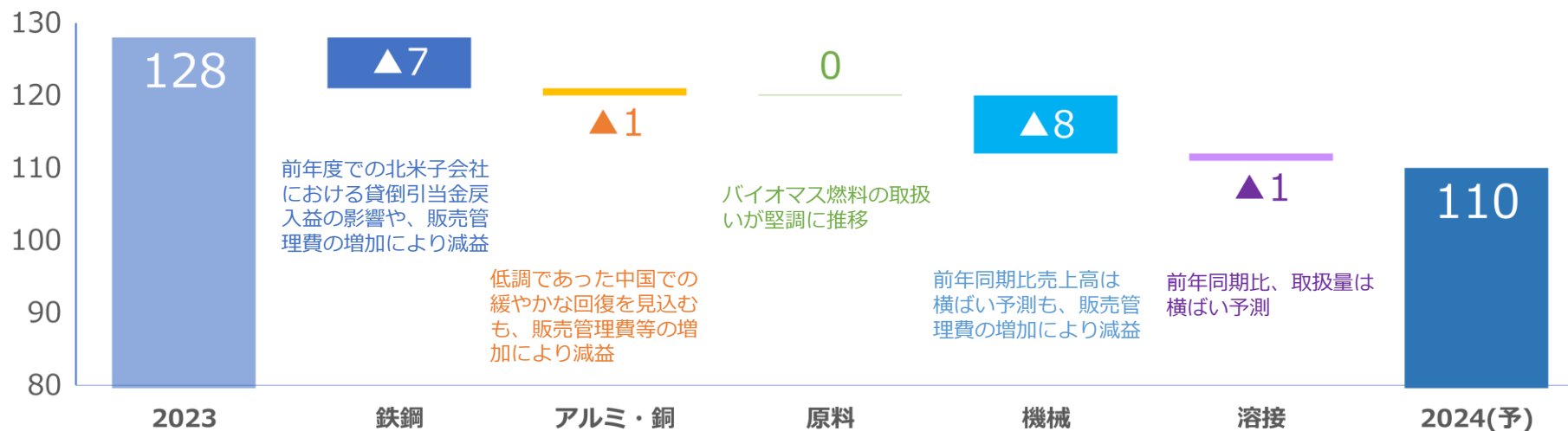
	2023年度	2024年度	前年度比 増減額	前年度比 増減率
売上高	5,914	6,230	+ 316	+ 5.3%
営業利益	133	107	▲26	▲19.5%
経常利益	128	110	▲18	▲14.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	91	81	▲10	▲11.1%
1株当たり 当期純利益	1,035.4円	920.0円	▲115.4円	▲11.1%
配当金(円)	315.0円	300円		-

2024年度 業績予想 ユニット別経常利益増減

2.業績予想

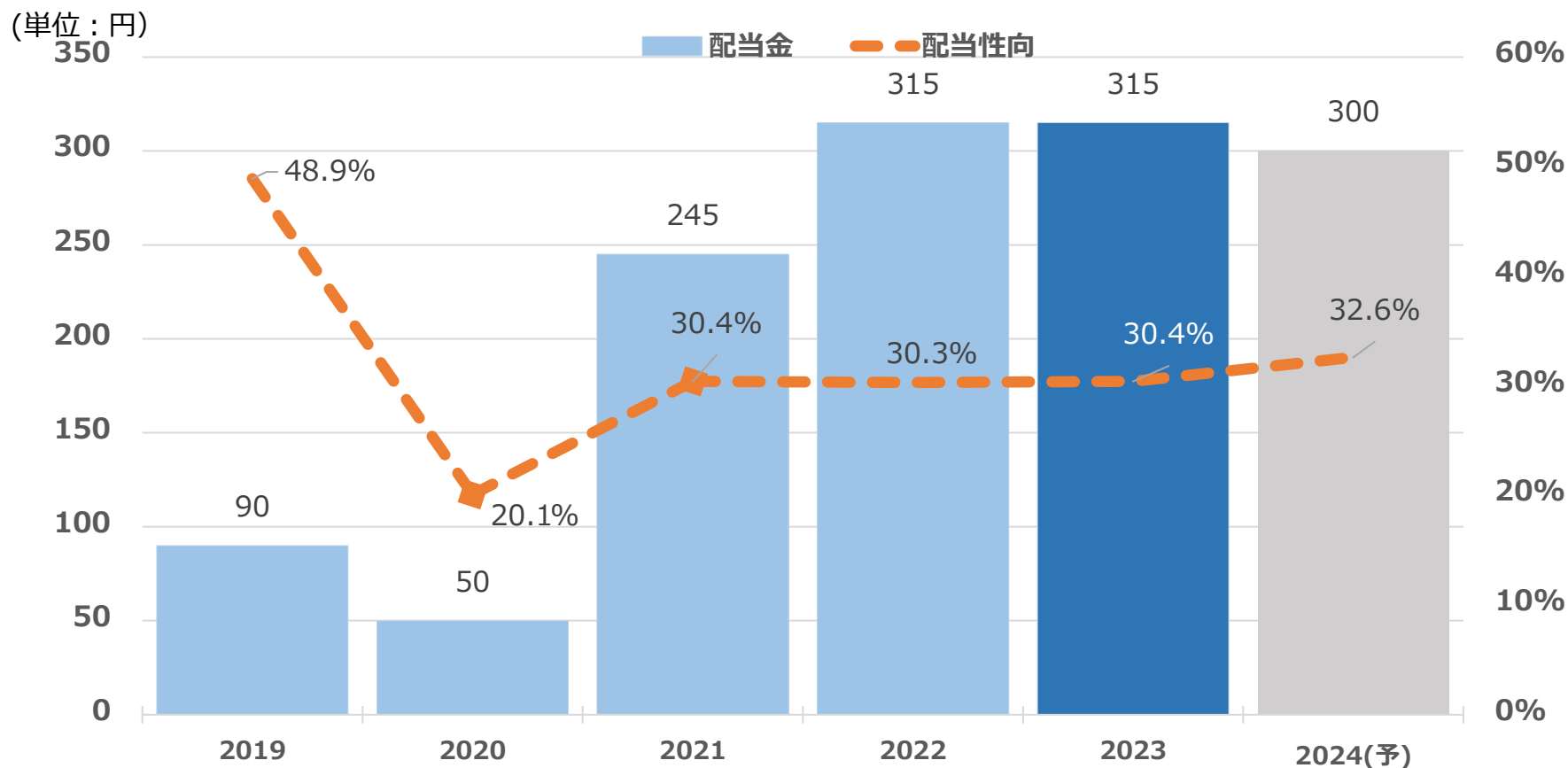
(単位：億円)

		2023年度 実績	2024年度 予想	増減額	増減率(%)
金属	鉄鋼	66	59	▲7	▲11.1%
	アルミ・銅	16	15	▲1	▲8.3%
	原料	15	15	▲0	▲0.9%
	小計	97	89	▲8	
機械・溶接	機械	23	15	▲8	▲35.1%
	溶接	7	6	▲1	▲19.4%
	小計	30	21	▲9	
その他		▲0	0	0	-
合計		128	110	▲18	▲14.2%



2024年5月9日公表時から変更有りません

- 「[中期経営計画2026](#)」での配当方針は、「連結配当性向 30%以上、または 1 株あたり配当 300 円のいずれか高い方とする」と決定いたしました
- 2024年度の年間配当予想は上記方針に基づき、300円とします



神鋼商事株式会社

(2024年3月末時点)

業 態	商 社
証 券 コ ー ド	東京証券取引所 プライム市場(8075)
住 所	【大阪本社】 大阪府大阪市中央区北浜二丁目6番18号(淀屋橋スクエア) 【東京本社】 東京都中央区京橋一丁目7番2号(ミュージアムタワー京橋)
創 業	1946年11月12日
連 結 子 会 社 数	40社
従 業 員 数	連結：1,526名 (内、平均臨時雇用者数 83名) 単体： 510名 (内、平均臨時雇用者数 53名)
単 元 株 式 数	100株
事 業 内 容	鉄鋼、鉄鋼原料、非鉄金属、機械、情報産業、溶材各製品の売買及び輸出入

1946年
大阪・北浜に**太平商事(株)**を設立
東京支社を設立



1966年
SHINSHO AMERICAN CORP.を設立



1960年
社名を**神鋼商事(株)**に変更

1988年
THAI ESCORP LTD.
を設立



2022年
プライム市場へ移行

2019年
東京本社を移転



2006年
神鋼商貿(上海)有限公司
を設立



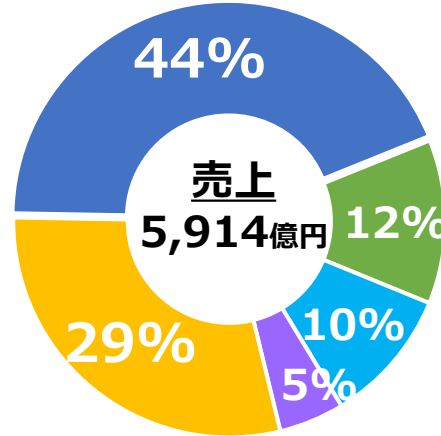
2021年
創立75周年

セグメント別事業概要

- 当社は、金属本部（鉄鋼ユニット、アルミ・銅ユニット、原料ユニット）と、機械・溶接本部（機械ユニット・溶接ユニット）で事業を展開

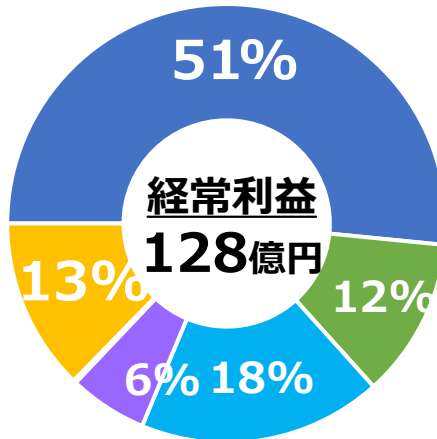
鉄鋼

自動車向けを中心に鉄鋼製品を国内・北米・中国・東南アジアに供給
北米加工拠点の強化等、設備投資・事業投資を展開



アルミ・銅 (旧：非鉄金属)

自動車・半導体・空調等へのアルミ・銅素材及び加工品の供給
スクラップ・雑電線等のリサイクルビジネス及び国内外加工拠点の強化・新設



原料 (旧：鉄鋼原料)

鉄鉱石等、製鉄所向け原料を安定供給
バイオマス燃料、鉄スクラップ等の資源循環型ビジネスにも注力



機械 (旧：機械・情報)

産業機械や建機部品、電子情報関連製品まで幅広い製品を取扱う
メンテナンスや部品などのアフターサービスにも注力



溶接 (旧：溶材)

高品質・高シェアの溶接材料に溶接ロボット等を加えたトータルソリューションを提供



経常利益の推移 (四半期ベース)

四半期別経常利益推移実績

(単位：億円)



企業理念

**私たちは誠実をモットーに、新しい価値の創造を通じて、
豊かな社会づくりと、みんなの幸せをめざします。**

※本資料に記載されております業績予想並びに将来見通しは、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、現時点で予測可能な情報に基づき当社が判断したものであり、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、様々な要因により記述されている将来予想とは大きく異なる可能性があり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみで投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。
本資料の利用で生じた損害を、当社では責任を負いかねますことご承知おき願います。